

2/23 (金)
14:00-16:00

はじめての広報 デザインセミナー

ホームページ制作から、リーフレットやポスター制作、映像編集・制作をされている、LAB-ARTの「星野かつゆき氏」を講師に招き、オンライングラフィックデザインツール「Canva」の使い方を分かりやすくご説明します。

場 所 コムズ3階 会議室3
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 NPOやまちづくり協議会の広報を担当する方
持参物 筆記用具、インターネット接続ができるパソコン、またはタブレット、オンラインデザインツールCanvaの登録済アカウント(ID・パスワード)



団体募集!

3月下旬にコムズで団体紹介のパネル展示をしませんか。

松山市のNPO・市民活動の紹介の場として、コムズにご協力いただき、3月下旬(2週間程度)に団体や活動紹介のロビーパネル展示を行います。

そこで、パネル展示を希望する松山市内のNPO団体を募集します。

市民に団体や活動を知ってもらおうきっかけに、この機会をぜひご活用ください。

募集期間

2月14日(水)~2月29日(木)

募集団体数

先着10団体(定員になり次第、受付を終了します)



(昨年度の様子)

各イベントや講座の詳細は、まつやまNPOサポートセンターホームページに掲載しています。参加希望の方は、メール、FAX、申込フォームにて、お申込みください。参加費は無料です。

2/25 (日)
14:00-16:30

NPOよろず 相談会・勉強会

NPOの活動や運営についての相談会&勉強会を開催します!日頃の困りごとを話したり、これってどういう意味なんだろうと思う、NPOに関する知識を学ぶことができます。

今回の勉強会のテーマは、「NPOの資金とは?」です。

場 所 コムズ1階 まつやまNPOサポートセンター
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 松山市のNPO団体の方や設立をお考えの方



サポセンだよりに関するお問い合わせは、まつやまNPOサポートセンターまで。

まつやまNPOサポートセンター

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

Tel 089-943-5790 Fax 089-943-5796

Email pico@npo.coms.or.jp HP http://www.npo.coms.or.jp/

Blog http://blog.canpan.info/saposen/

受付時間 平日 9:00~18:00 日祝 9:00~17:30

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)

まつやまNPO 検索



サポセンだより

2P 特集
SNSをより効果的に活用するために
注意しておきたいこと!



4P 松山市職員市民活動体験研修実施報告

6P 松山市市民活動推進補助金採択団体活動報告

7P まつやまNPOサポートセンター 事業報告

8P イベント開催のお知らせ

2023

冬号

特集

SNSをより効果的に活用するために 注意しておきたいこと！

若年層に限らず、幅広い年代で日常的に使われているSNS（LINE、X、Facebook、Instagramなど）。NPOにとっても、日頃の活動状況やイベントの情報を手軽に発信できる便利なツールになっています。便利ながら一方、企業などの公式SNSでの情報漏洩や利用者の増加による誹謗中傷を含む炎上などが発生しています。今回は、SNSのメリット・デメリットを知り、SNSを効果的に活用するためのリスク対策をご紹介します。

SNSの主なメリット・デメリット

メリット

- 基本的に無料で登録・利用ができる
- 投稿方法が簡単で始めやすい
- 情報のシェアができ、情報拡散力が高い
- 関係者とのコミュニケーションをとりやすい



デメリット

- 個人情報の漏洩や誹謗中傷を受けるリスクがある
- 効果的な運用には、スキルや手間がかかる
- 定期的な情報発信を行わないと情報が埋もれてしまう

SNSで興味を引くような文章や写真を投稿するためには、知識やスキルが必要な場合があります。

はじめてすぐは、頻繁に投稿していても、頻度がだんだん減ってしまうことが多く、フォロワーに見てもらえなくなります。

SNSのリスクと基本的なリスク対策

主なリスク

- 1 炎上することがある
気を付けていても、投稿の意図がSNSを見ている人（フォロワー）に伝わらず、反感を買って炎上してしまうことがあります。
- 2 自団体のイメージを損なう可能性がある
自団体のイメージや伝えたいことを正しく理解し、SNSを投稿しなければ、フォロワーに誤ったイメージを伝えてしまうことがあります。
- 3 SNSアカウントを乗っ取られる可能性がある
アカウントの乗っ取りは、企業でも個人でも頻繁に起こっています。乗っ取られると、フォロワーに勝手な内容を発信されてしまうことになります。

主なリスク対策

- 1 自団体のSNSの運用ルール・ガイドラインを決める
SNSを使う際の心構えや注意点、トラブルが起きた場合の連絡先や対応方法などを決めておき、メンバーに共有しておきます。場合によっては、自団体のSNS運用ガイドラインとして公開しておく、利用者や関係者の安心感を高めることもできます。
- 2 リスク発生時の緊急対応フロー・方法を決める
SNSのトラブルが発生した際の対応フローを作っておくと、リスクマネジメントの精度がより向上します。トラブルの種類や原因にあわせて「だれが」「どんなルールに基づいて」「どんな判断対応を行うか」などをあらかじめ自団体で協議し共有しておくことが大切です。
- 3 メンバーにSNSのリスク対策の研修を行う
個人では問題にならないことでも、団体から発信するのであれば、相手が傷ついたり、社会的な制裁を受けたりするかもしれないことなどについて研修をして、1人1人の危機管理の意識を高めます。
- 4 運用するSNSをチェックする
SNSのチェックは、トラブルの早期発見・早期対応に必要です。これにより、いち早く炎上の火種を察知し、迅速な対応ができます。

まとめ

- メリットやデメリットを理解して、効果的にSNSを活用しましょう。
- SNSを利用するときは、団体の運用ルールやガイドラインを決めておきましょう。

01 報告 令和5年度松山市職員市民活動体験研修実施報告

松山市では、職員の市民活動団体への理解やパートナーシップの構築による協働社会への意識を高めることなどを目的に、市民活動を体験する研修を実施しています。今年度の研修の様子を報告します。

8月8日 体験前の事前研修について

まつやまNPOサポートセンターでは、毎年、職員体験研修の実施前に、NPOをより理解していただくための事前研修を行っております。

この事前研修では、NPOの成り立ち、NPOとNPO法人の違い、松山市が取り組む市民活動推進事業について説明しました。研修を受けた職員の中には、松山市に登録しているNPOの数の多さに驚く職員もあり、松山市内のNPOについて知ってもらう機会となりました。

また、体験予定の団体の活動や、研修の内容を知っていただくことで、体験研修の事前準備を整えることができました。

9月17日 くぼの里山会

松山市窪野町の窪野公園で開催される産直市「いよ窪野収穫祭」に参加し、地元の農家の方と一緒に農作物の販売等を体験しました。

また、窪野町へ移住した方のお話を聞き、何故ここを選び、ここで農業をすることになったのかなどを質問していました。

体験した市職員からは、地域の実情や特色を知ることができ、今後携わる業務に活用できる貴重な機会となったとの声がありました。



10月12日 特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク

東雲公園で、継続的な環境学習の場や防災・減災の場になる「東雲公園のコミュニティファーム」を体験しました。

市職員は、同活動に関する説明を受け、小学生と一緒に除草作業や農作物の水やりなどをしました。その後、中学生による公園を有効に活用する提案について、参加者全員で議論をしました。研修を通じて、この場所にコミュニティが形成されていると実感できたようです。



10月20日 NPO法人 みんなダイスキ松山冒険遊び場

祝谷町の野外保育「森のようちえん」では、団体のスタッフとともに、自然の中で遊ぶ子ども達を見守りました。子どもたちへの安全管理の徹底をしつつ、自主性を重んじることで、自由な発想で遊び、自然の中で感性を育んでいくことができることに感動していました。

また、子どもに指導するのではなく、子どもと寄りそうことが大切だということを実感したとの感想がありました。



10月21日 愛媛県ディスコン協会

松山市総合コミュニティセンターで「愛媛スポーツレクリエーション祭2023親睦ディスコン大会」を体験しました。市職員は、コートを設置したり、競技で使用する道具を配布するなど、大会を運営しました。

参加者同士が、久しぶりに会う仲間と競技を楽しんでいる様子を見て、NPOの活動を続けることの大切さを知る機会となりました。



10月22日 花園町東通り商店街組合

花園町で、月1回開催されている「まつやま花園日曜日」の運営を体験しました。市職員は、団体スタッフやボランティアと協力して、案内看板やテント、机、いすの設置、参加者の誘導などを担当しました。

また、団体の代表から、花園町の整備やにぎわいの創出に関する話を聞き、まちづくりとは何かを肌で感じることができました。



最後に

今回の研修に参加した市職員の多くは、NPOの活動が市民にとって必要なものだ実感することができ、研修目的である協働社会への意識を高めることができたのではないかと思います。今回の研修を通して高まったNPO活動への理解や協働への意識を継続していくには、日頃から個々のNPOの活動について関心を持ち、お互いに理解していくことが大切ではないかと思います。

02 令和5年度 報告 松山市市民活動推進補助金採択団体活動報告

9/16 「新たな備えサポート隊in松山」実行委員会



松山市美沢町のDCM(株)1階で、「ボランティア実技研修会」を開催しました。災害時要援護者へのアプローチや、家具の転倒防止器具の設置を実演するなど、防災意識の啓発を行いました。

11/4 劇場で出会うプロジェクト実行委員会



シアターねこで「体験型の地域芸術祭ねこのよりあい」を開催しました。参加者は、絵師と一緒に絵を描いたり、お芝居の感想を俳句にして発表するなど、アートを通じて参加者同士の交流を楽しみました。

11/27 愛媛デジ女プロジェクト



P・SPOCafé & Eventで「PR動画の作り方、リール動画制作編」を開催しました。子育て中のママや働きたい女性を対象に、最適な働き方の選択肢を広げるため、デジタルツールの活用について説明しました。

11/3 NPO愛媛室内合奏団



大街道の三越前で、「市民でつくる松山の第九2023」と題して、市民と音楽経験のある方が一緒になって、第九を歌いました。アーケードに豊かな歌声が響き渡り、500名を超える人々が聞き入っていました。

11/11 人間環境大学総合心理学部 総合心理学科学生会サークル



人間環境大学の大学祭にて、モザンビークの内戦で使用された武器をもとに作られたアート作品展を開催しました。来場者は、感想を書いた絵葉書を互いに掲示し、平和の大切さを学び合いました。

11/28 ピアリンクinえひめ



愛媛県生活文化センターで、「ひめピヨマルシェ2023」を開催しました。会場内に見守り託児コーナーがあり、母親もハイハイレースやマッサージ体験、絵本の読み聞かせなどのイベントに安心して参加できました。

03 報告 まつやまNPOサポートセンターの事業報告

10/3 出前講座 聖カタリナ大学

聖カタリナ大学にて、多文化共生論の講師を務めました。この講義は、共生社会に向けた取り組みなどについて理解し、受講生がこれからの生活のなかでの自らの課題について学ぶものです。

今回は、阪神淡路大震災をきっかけに、社会のニーズに応える形で特定非営利活動促進法が成立したことを説明しました。そして、震災以降、共生社会を支える活動の一つとして、NPOの活動を紹介しました。



10/12 企業ボランティア受入 GAPJapan

GAPJapanより、NPOボランティア体験の要望があり、3名の受け入れをしました。松山市に登録しているNPOの数、関連のある法律、実際のNPOの活動事例について案内しました。また、センターで配布する物品の準備を体験していただきました。

最後には、NPOに対する理解や企業とNPOの違い、企業の社会貢献をテーマに意見交換を行い、お互いに有意義な議論をすることができました。



12/17 NPO交流お茶会

NPO同士の交流促進を目的にお茶会を開催しました。今回は、「えひめ障害者ヘルパーセンター」、「子どもリエゾンえひめ」、「子どもの成長見守り隊」の方が参加されました。

最初は皆さん緊張されていましたが、時間の経過と共に打ち解けて、運営上の悩みや問題点を軸に意見交換をすることができました。

今後も気軽に参加できる小さな交流会を実施し、NPO同士の協働促進につなげたいと思います。



10月 子ども・若者NPOインターンシップ

当センター主催の同インターンシップ1期生として、10月1日～10月29日(計20時間)の間、松山大学の学生1名を受け入れました。NPOの知識を学び、NPOの中間支援業務を体験し、NPO活動体験(NPO法人Green Culture in Matsuyama 庚申庵倶楽部)を通して、自分ができる社会貢献について考えました。

インターンシップ生 感想

NPOインターンシップ研修では、NPOの基礎知識から経営、領収書の見方など広く学ぶことができました。

また、GCM庚申庵倶楽部に受け入れていただき、NPO活動体験も行いました。地域の方とも楽しい時間を共有させていただきました。使命感を持ち、NPO活動を続けていくこともNPOの主体がその活動にやりがいや楽しさを見出すことも大切であることが分かりました。

